



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社  
 コード番号 6848 URL <http://www.toadkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 輝男

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 玉井 亨

TEL 03-3202-0211

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,149	△1.5	349	△23.2	386	△23.1	192	△27.7
25年3月期第2四半期	6,246	△3.3	454	△32.6	502	△28.5	265	△29.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 315百万円 (76.7%) 25年3月期第2四半期 178百万円 (△49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	9.68	—
25年3月期第2四半期	13.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,178	10,611	65.6
25年3月期	16,769	10,494	62.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,611百万円 25年3月期 10,494百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,600	6.8	1,400	1.1	1,450	1.4	900	2.4	45.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	19,880,620 株	25年3月期	19,880,620 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	47,380 株	25年3月期	47,309 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	19,833,279 株	25年3月期2Q	19,833,536 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクス効果により円高が是正されるなど、輸出中心の企業は回復基調にあるものの、中国を始めとする新興国の経済減速、米国の財政問題に端を発した景気の下振れ懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当計測器業界においても、大型の設備投資には依然慎重な傾向が続いているほか、中堅・中小企業を含めた国内製造業全体の業況改善を実感するまでには至らず、回復までには未だ道半ばの状況に止まりました。

このような需要環境の中で当社グループは、受注が先行するなど業況好転の兆しはあるものの、売上高は微減、損益面では第1四半期における「高原価受注品の集中」「不動産賃貸事業の本社隣接ビル解約」といった収益減をカバーすることができず、減収・減益の止むなきに至りました。

一方、経営改革運動の一環として推進している上期黒字化運動は8期（8年）連続達成、また、単月黒字化運動は平成21年9月からこの平成25年9月まで49ヶ月連勝と記録を更新することが出来ました。これらに象徴されるとおり収益性の改善と安定化が見られるほか、更に第2四半期後半からは引き合い件数浮揚の気配を実感、新たな営業管理手法の導入を図るなど、更なる積極的な営業活動を展開し、成約率の向上に万全を期していくことにしております。従いまして、第3四半期以降もこれらの諸施策を強力に推進することにより、通期においては経営数値目標を達成する見込みであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,149百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益349百万円（前年同期比23.2%減）、経常利益386百万円（前年同期比23.1%減）、四半期純利益192百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

なお、当社は、株式会社東京証券取引所から平成25年10月31日をもって同市場第二部から同市場第一部への指定を承認されましたので、併せてお知らせいたします。これも偏に株主の皆様を始め、これまでお力添えをいただいた全てのステークホルダーの皆様の温かいご指導、ご支援の賜物であり心から感謝申し上げます。

続いて、セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<計測機器事業>

当事業の売上高は6,075百万円（前年同期比0.4%減）、受注高は7,063百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は672百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

分野別売上高の状況

（単位：百万円）

区 分	前第2四半期連結累計期間 (第69期) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 (第70期) 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで		前 年 同 期 比
	売 上 高	構 成 比	売 上 高	構 成 比	
	計測機器事業				
環境・プロセス分析機器	2,004	32.9%	1,981	32.6%	△1.2%
科学分析機器	898	14.7%	884	14.6%	△1.5%
産業用ガス検知警報器	253	4.2%	215	3.5%	△15.3%
電 極 ・ 標 準 液	1,070	17.6%	1,072	17.6%	0.2%
保 守 ・ 修 理	922	15.1%	916	15.1%	△0.6%
部 品 ・ そ の 他	947	15.5%	1,005	16.6%	6.1%
合 計	6,098	100.0%	6,075	100.0%	△0.4%

(注)金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

① 環境・プロセス分析機器

この分野は、主として基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

国内市場では、大型の民需設備投資に依然として慎重な状況が続き基本プロセス計測器が低迷しているものの、第2四半期に入り環境用水質分析計及び環境用大気測定装置の大型入札物件の落札を始め官公需を中心とした需要環境が改善し、売上アップに貢献しました。

海外市場は、中国向けの環境用水質分析計が引き続き好調であったほか、韓国において上下水道用分析計の大型案件を獲得するなど、前年同期に比べ大幅に業績が改善しました。

しかしながら、全体としては、回復基調にあるものの本格的な需要環境の好転には至っておらず、前年同期並の結果となりました。

② 科学分析機器

この分野は、主としてラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療用機器等であります。

ラボ用分析機器・ポータブル分析計は若干の減少となりましたが、医療用機器においては引き続き透析関連設備向け「透析用粉末薬剤溶解装置」が好調に推移し、全体としては、前年同期並の結果となりました。

③ 産業用ガス検知警報器

この分野は、バイオニクス機器株式会社が製造・販売する産業用ガス検知警報器であります。

国内市場は、前年同期並みの業績を確保しましたが、海外市場においては、主力の半導体市場において前年同期にあった韓国向け大型特需を補填するまでには至らず、全体としては、前年同期を15.3%下回る結果となりました。

④ 電極・標準液 ⑤ 保守・修理 ⑥ 部品・その他

この分野は、前記①(環境・プロセス分析機器)、②(科学分析機器)の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検及び修理、リペアパーツ等に該当するものであります。

需要環境は回復基調で推移しておりますが、⑥(部品・その他)の分野が前年同期を若干上回ったものの、全体としては、前年同期並の結果に止まりました。

<不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接して賃貸ビル1棟、埼玉県狭山市に貸店舗1棟ほかを所有し、不動産賃貸業を行っております。

当事業の売上高は74百万円(前年同期比49.8%減)、セグメント利益は33百万円(前年同期比70.6%減)と大幅な減収・減益となりました。

これは、平成25年5月末をもって本社に隣接するビルを1棟貸ししていたテナント先が退去したことによるものであります。

なお、現時点では新たなテナント先候補が決定または内定しつつあり、次年度以降は一定の収益回復を見込んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ591百万円減少の16,178百万円となりました。これは、たな卸資産が247百万円、投資有価証券が190百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が1,060百万円減少したことなどによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ708百万円減少の5,566百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が244百万円、未払法人税等が99百万円、その他が176百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ117百万円増加の10,611百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内市場が全体的に回復基調にあり、海外向けの輸出案件も好調に推移しており、足下の受注状況も改善していることから、現時点では平成25年5月9日に公表した通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,698	3,757
受取手形及び売掛金	5,390	4,329
商品及び製品	741	908
原材料	541	560
仕掛品	474	535
繰延税金資産	158	167
その他	139	162
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	11,139	10,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,184	2,117
機械装置及び運搬具(純額)	69	58
工具、器具及び備品(純額)	160	168
土地	765	765
リース資産(純額)	137	117
建設仮勘定	21	104
有形固定資産合計	3,337	3,331
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	447	472
その他	146	127
無形固定資産合計	593	599
投資その他の資産		
投資有価証券	992	1,183
繰延税金資産	461	400
その他	251	252
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,698	1,828
固定資産合計	5,630	5,759
資産合計	16,769	16,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057	813
短期借入金	557	481
リース債務	79	77
未払金	609	545
未払法人税等	267	167
未払消費税等	35	16
賞与引当金	217	268
役員賞与引当金	24	—
損害補償損失引当金	219	170
その他	368	191
流動負債合計	3,437	2,731
固定負債		
長期借入金	93	56
リース債務	114	86
長期預り保証金	238	256
退職給付引当金	2,143	2,173
役員退職慰労引当金	180	194
資産除去債務	67	67
固定負債合計	2,837	2,835
負債合計	6,275	5,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	6,936	6,930
自己株式	△11	△11
株主資本合計	10,065	10,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	552
その他の包括利益累計額合計	429	552
純資産合計	10,494	10,611
負債純資産合計	16,769	16,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,246	6,149
売上原価	3,694	3,764
売上総利益	2,552	2,385
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	978	964
賞与引当金繰入額	161	132
退職給付費用	77	78
役員退職慰労引当金繰入額	21	19
減価償却費	29	30
研究開発費	277	235
その他	551	576
販売費及び一般管理費合計	2,097	2,036
営業利益	454	349
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	29	7
受取負担金	—	24
持分法による投資利益	2	3
保険解約返戻金	2	—
その他	25	19
営業外収益合計	61	56
営業外費用		
支払利息	10	7
債権売却損	3	3
為替差損	—	7
その他	0	0
営業外費用合計	13	18
経常利益	502	386
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	502	386
法人税等	237	194
少数株主損益調整前四半期純利益	265	192
四半期純利益	265	192

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265	192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△86	123
その他の包括利益合計	△86	123
四半期包括利益	178	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178	315
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,098	148	6,246	6,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,098	148	6,246	6,246
セグメント利益	686	112	798	798

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	798
全社費用(注)	△344
四半期連結損益計算書の営業利益	454

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,075	74	6,149	6,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,075	74	6,149	6,149
セグメント利益	672	33	705	705

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	705
全社費用(注)	△356
四半期連結損益計算書の営業利益	349

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。